

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定)
第2回有識者懇談会

日時：平成27年9月30日(水)

13時45分～14時15分

場所：総理大臣官邸4階大会議室

- 1 開会
- 2 有識者懇談会座長挨拶
- 3 「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定)の選定地区並びにグランプリ及び特別賞の選定方法等について
- 4 意見交換
- 5 官房長官挨拶
- 6 農林水産大臣挨拶
- 7 閉会

【配付資料】

- 資料1 「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定)応募件数
資料2 「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定)選定地区(案)
資料3 「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定)グランプリ及び特別賞の選定方法等について
参考 「ディスカバー農山漁村の宝」有識者懇談会委員名簿

ディスカバー農山漁村の宝(第2回選定)応募件数

第2回選定について、平成27年5月18日から7月10日まで農山漁村活性化の優良事例を公募したところ、以下のとおり、全国から683件の応募があった(去年は251件)。

都道府県名	応募件数	都道府県名	応募件数
北海道	38	滋賀県	17
青森県	13	京都府	7
岩手県	12	大阪府	7
宮城県	10	兵庫県	12
秋田県	13	奈良県	7
山形県	7	和歌山県	21
福島県	12	鳥取県	11
茨城県	7	島根県	20
栃木県	11	岡山県	25
群馬県	14	広島県	20
埼玉県	18	山口県	20
千葉県	7	徳島県	11
東京都	8	香川県	11
神奈川県	10	愛媛県	16
山梨県	14	高知県	12
長野県	16	福岡県	9
静岡県	19	佐賀県	7
新潟県	28	長崎県	10
富山県	17	熊本県	17
石川県	26	大分県	7
福井県	36	宮崎県	11
岐阜県	20	鹿児島県	22
愛知県	12	沖縄県	5
三重県	10	合計	683

「ディスカバー農^む山^ぶ漁村の宝」(第2回選定)

選定地区(案)

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回選定) 選定地区一覧(案)

No.21 岡山県 久米南町
北庄中央棚田天然米生産組合
都市との交流で「苦農」から「楽農」へ

No.22 山口県 萩市
社会福祉法人E.G.F
障がい者が力をあわせ未来の農業を支える

No.23 徳島県 吉野川市
特定非営利活動法人
美郷宝さがし探検隊
「キレイのさと」美郷の宝の守り人

No.24 香川県 多度津町
農事組合法人たどつオーリーブ生産組合
瀬戸内の小さな町で創った「蒼のダイヤ」

No.25 熊本県 玉名市
小岱山薬草の会
薬草食べて元気な町に

No.26 鹿児島県 南大隅町
社会福祉法人 白鳩会
農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！

No.27 沖縄県 名護市
やんばる畑人プロジェクト
「やんばるは美味しい！」全国へ！

No.16 三重県 鳥羽市
相差海女文化運営協議会
日本一海女が多いまち鳥羽相差海女文化を世界へ発信！

No.17 滋賀県 野洲市
せせらぎの郷
生きものと人が共存できる農業を目指して

No.18 和歌山県 有田市
株式会社 早和果樹園
有田みかんの6次産業化による地域活性化

No.19 和歌山県 田辺市
農業法人株式会社秋津野
都市と農村の交流施設 秋津野ガルテン
(廃校舎を活用した施設で日本型グリーン・ツーリズムの推進)

No.20 島根県 浜田市
美又湯気の里づくり委員会
美肌の湯が紡ぎ育む「地域まるごと6次産業化」

No.14 福井県 若狭町
農業生産法人
有限会社かみなか農楽舎
農業で地域を元気にする次世代リーダー育成

No.15 岐阜県 下呂市
馬瀬地方自然公園づくり委員会
「日本一の美味しい村・美しい村づくり」
(馬瀬地方自然公園づくり)

No.13 福井県 福井市
殿下の里づくり組合
かじかの里山殿下部会
引き継ごう伝承の味、伝統の文化！

No.11 石川県 能登町
春蘭の里実行委員会
みんなの探しものが見つかるむらづくり

No.12 石川県 七尾市
NOTO高農園
移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める

No.8 神奈川県 平塚市
平塚市漁業協同組合
平塚のお魚普及キャンペーン大作戦

No.9 静岡県 西伊豆町
西伊豆しおかつお研究会
伝統の味でまちおこし！伊豆半島を元気に！

No.10 富山県 射水市
新湊漁業協同組合
新湊の魚、日本一。食べに来られ！

No.1 北海道 剣淵町
絵本の里けんぷちVIVAマルシェ
絵本の里けんぷち軽トラマルシェ
お客様と共に農業を楽しみたい！

No.2 北海道 北斗市
函館育ちふっくりんこ蔵部
美味しいお米 自分たちで決まりをつかって守る！道南の「美味しいお米」をより多くの人に食べてもらいたい。

No.3 青森県 平川市
農業生産法人
株式会社グリーンファーム農家蔵
日本一の農家蔵・庭園の町で食農・食育教育の実践

No.4 岩手県 遠野市
遠野・住田ふるさと体験協議会
企業研修や外国人にグリーン・ツーリズムをすすめよう！

No.5 宮城県 仙台市
一般社団法人ReRoots
復旧から復興へ、そして地域おこしへ

No.6 栃木県 市貝町
芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会
影は薄いが、情けは厚い 本州最大級芝ざくら公園

No.7 埼玉県 秩父市
お菓子な郷推進協議会
カエデの多分野多用途活用



(注) 桃色で囲まれた地区は、全国の各ブロックで評価が最も高かった地区

絵本の里けんぶちV I V Aマルシェ

キャッチフレーズ

絵本の里けんぶち軽トラマルシェ
お客様と共に農業を楽しみたい！

キーワード

「食」の提供・活用

農林漁業体験

地産地消

取組概要

若手農業者が農作物を軽トラの荷台に積み込み、各地で移動販売(マルシェ)。地元小・中・高校の体験学習の受入。
マルシェの情報は、ブログ等SNSを通じて定期的に発信
小売店との価格競争に巻き込まれないよう、小売店には無い少量多品種販売を実施

活動の効果

直接消費者と接することで、栽培農作物に一層の責任感を持つとともに、消費者ニーズを直に感じることで、生産現場に反映
農作物の販売に留まらず、農家レストランの食材提供やワークショップ、加工品製作など活動内容が多角化
売上が平成22年30万円から平成26年に1,600万円と増加傾向



軽トラの移動販売



軽トラマルシェ



地元小学校の体験学習

函館育ちふっくりんこ蔵部

キャッチフレーズ

美味しいお米 自分たちで決まりをつくって守る！
道南の「美味しいお米」をより多くの人に食べてもらいたい

キーワード

「食」の提供・活用

農林漁業体験

地産地消

取組概要

独自基準を設けて品質を守る取組により米の品種「ふっくりんこ」のブランド化を推進
地元高校生の農作業体験、体験ツアーにより普及・啓発
「ふっくりんこ」を原料とした純米酒等加工品の開発・販売

活動の効果

地元外食チェーン店や小中学校の給食に採用
JAL国内便ファーストクラスの機内食として採用
生産量は、平成15年から右肩上がり増加し、平成22年以降は7～9千トンで推移



ブランド化を推進



高校生による販売促進



「ふっくりんこ」生産者戸数
作付け面積の推移

農業生産法人 株式会社グリーンファーム農家蔵のう か くら

キャッチフレーズ 日本一の農家蔵・庭園の町で食農・食育教育の実践

キーワード

食育

農林漁業体験

6次産業化

取組概要

日本一といわれる農家蔵・庭園群を地域資源として、受入組織の構築、受入農家研修、大都市圏の旅行会社、学校への教育旅行の誘致活動、ファームステイ受入、インバウンド受入(米国、タイ、台湾)等により、農作業・農村生活体験や食育を実践
米粉入りパンやジェラートの販売など6次産業化を推進

活動の効果

毎年、2、3千人規模の教育旅行の受入
県内有数の教育旅行受入地となることで、受入農家や地域商工業者に経済波及効果



高校生への食農教育



米国の学生へ食農教育



食育教育の生活体験

遠野・住田とのお すみたふるさと体験協議会

キャッチフレーズ 企業研修や外国人にグリーン・ツーリズムをすすめよう！

キーワード

自然・景観

観光

学校・企業

取組概要

首都圏の大企業と連携し廃校の活用や民泊を通じて、コミュニケーション育成を種とした企業研修・交流を実施
沿岸復興地への視察・ボランティアへのニーズに対する行程コーディネート確立
教育旅行のほか、インバウンドを受入推進のため、大型商談会への出展・PR、受入家庭向け英語研修、外国語パンフレット作成などを実施

活動の効果

民泊の受入対象が、学生主体だったものが、企業研修まで広がることで、リピーター増に繋がり、様々な地域施設の利用増など経済波及効果大
企業研修の受入の取組により、教育旅行受入NGだった新規民泊受入家庭の参入や受入民泊の後継者の確保促進



廃校を活用して研修を実施



企業研修で復興地の視察



海外研修生と古民家再生作業

一般社団法人 ReRoots

キャッチフレーズ

「復旧から復興へ、そして地域おこしへ」

キーワード

農林漁業体験

地産地消

復興

取組概要

被災農家と協力した市民農園の開設、行政等と連携したワークショップの取組参加、地域美化活動等を通じて、地域コミュニティの再生の取組支援

被災農家の野菜販売をアンテナショップや移動販売、企業等と連携しレトルトカレーの商品化

ひまわり植栽など農村景観ツアーやさつまいもの農業体験・食育ツアーを実施

活動の効果

地域コミュニティ再生への地元住民の立ち上がり促進

野菜販売活動を通じて、消費者のニーズを農家に伝えることで、農家に農薬の使用を控えたり、珍しい野菜づくりへの挑戦などの変化

交流活動の展開により、農村復興への継続的関心の呼び起こし



朝市で被災地の野菜販売



公営住宅で移動販売



サツマイモの農業体験

芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会

キャッチフレーズ

影は薄い、情けは厚い 本州最大級 芝ざくら公園

キーワード

自然・景観

観光

ボランティア

取組概要

地域の自治会が組織化を図り、町と連携し芝ざくら公園の維持・管理を行うほか、大企業と連携した観光ツアーの開催、そばオーナー制、イベントの開催等観光誘客に取組

公園管理の作業について、ポイントカード制を導入するなどボランティアを確保

芝ざくら公園周辺の施設についても、年間を通じて環境整備活動を実施

活動の効果

協議会は、地域の全戸が会員となり活動を行っており、地域コミュニティの再構築が促進

20万人が訪れる芝ざくらまつりや各種イベントの開催により、地元商店や町内事業所が活性化され地域経済に寄与
イベントや施設の管理など、年間を通じた雇用の創出



芝ざくらまつり



高校生による植栽ボランティア



高齢者の除草ボランティア

お菓子な郷^く推進協議会

キャッチフレーズ

カエデの多分野 多用途活用

キーワード

6次産業化

地産地消

自然・景観

取組概要

秩父の山々に自生しているカエデに着目し、国産メープルシロップ事業を開始し、樹液の採取、シロップ化(カエデ糖)のほか、カエデ酵母菌使用のパンの開発、カエデのラムネの販売など6次産業化、林商工連携によるお菓子づくりを推進

針葉樹林にカエデを植栽するなど針広混交林化を推進

大手小売点、コンビニ、通信販売を活用し、販売事業を展開

活動の効果

カエデシロップ事業の取組は、持続可能な森林の活用、山林の再生に貢献するほか、お菓製造など地域活性化に貢献

商品の製造等に地域の若者、高齢者、障害者等と連携協働することで、商品の収益を地域全体に循環させる仕組みを構築



中学生と植樹事業



カエデ樹液の採取状況



カエデシロップ使用製品

平塚市漁業協同組合

キャッチフレーズ

平塚のお魚普及キャンペーン大作戦

キーワード

6次産業化

農商工連携

地産地消

取組概要

大型農産物直売所や港の荷さばき施設で、漁師による対面販売により、大漁で値がつかない魚、流通にのりにくい規格外の魚等を販売

各種イベントにキッチンカーによるお魚せんべいの販売、地元FM局と連携した中継付き販売など地魚のPR活動

飲食店兼加工施設を立ち上げ6次産業化へ取組

活動の効果

漁師が消費者に接して販売することで、漁師の魚の扱いや鮮度管理等の意識が向上

「低利用魚」の付加価値を高める新商品の開発等の取組をすることにより、漁師の経営マインドや視野が向上

6次産業化による多角的な取組により、新たな収入確保、PR効果も実感でき、モチベーションが向上



キッチンカーによる販売



地どれ魚直売会



地元FM局と連携した販売

西伊豆しおかつお研究会

キャッチフレーズ

伝統の味でまちおこし！伊豆半島を元気に！

キーワード

伝統・継承

「食」の提供・活用

食育

取組概要

地域の伝統食「潮鯉」の神事の再現や地域の団体と連携し、鯉漁で栄えた当地の歴史や食文化に着目したイベントを共催

地域のグルメ「しおかつうどん」を通じて、B-1グランプリに出展し、食の提供とともに地域をPR

学校給食での「しおかつうどん」の提供と、潮鯉の歴史など出張授業による食育活動

活動の効果

「潮鯉」は、あまりの塩辛さと知名度の低さから、製造が途絶えそうな危機的状況であったが、活動により生産量が増加し、ふりかけや関連商品も販売され、しおかつうどんを提供する店舗も34店舗になるなど、地域の飲食店、土産物店、食品会社の売上に貢献

イタリアのスローフード協会が希少な絶滅の恐れのある食材を認定する「味の箱船」に認定



浅間大社奥宮へ奉納



B-1グランプリに出店



小学校の給食に提供

新湊^{しんみなと}漁業協同組合

キャッチフレーズ

新湊の魚、日本一。食べに来られ！

キーワード

「食」の提供・活用

食育

地産地消

取組概要

朝・昼2回のセリ見学、見学活動と衛生確保を両立させる施設改築、市内全小学6年生へのベニズワイガニ丸ごと1匹プレゼントの「カニ給食」による魚食普及、高校生を対象とした魚のさばき方教室等を実施

「新湊カニかに新鮮白えびまつり」において、新湊漁港で水揚げされるベニズワイガニや白えび等の販売や食の提供

若手漁師によるマコガレイのブランド化やイワガキの養殖技術の実用化

活動の効果

「新湊カニかに新鮮白えびまつり」は、県内外からの集客があり、毎年約4万から5万人の集客

新湊で水揚げしたマコガレイを数日間養育し、肉厚の状態の良いものを「万葉カレイ」として付加価値を付けて出荷



市内の小中学校でかに給食



昼セリの見学



万葉カレイの試食会

石川県鳳珠郡能登町

しゅんらん 春蘭の里実行委員会

キャッチフレーズ

みんなの探しものが見つかるむらづくり

キーワード

自然・景観

伝統・継承

農林漁業体験

取組概要

黒瓦、白壁などの住宅景観や地域住民の生活様式といった、地域の景観や伝統を地域の宝として農家民宿・体験事業を実施し、国内外の教育旅行や一般客を受入れ

輪島塗りの器を使用するなど農家民宿の質の向上及び宿泊受付窓口・料金の統一化や、80を超える体験メニューを整備

農家民宿の開業講座や勉強会など農家民宿の確保や魅力の向上

活動の効果

平成9年度1軒だった農家民宿が周辺集落にも広がり47軒に拡大
入り込み客数が平成9年度30人から平成26年度には1万人越え
地域住民等の景観保全に対する意識が向上し、耕作放棄地が解消



農家民宿で修学旅行を受入



稲刈り体験



輪島塗の御膳

石川県七尾市

の と たか NOTO高農園

キャッチフレーズ

移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める

キーワード

6次産業化

定住・移住

女性の活躍

取組概要

平成12年に夫婦で新規就農し、遊休農地を利用して伝統野菜等をエコ栽培、有機栽培

地域の食材の魅力や栽培情報を広め、6次産業化を推進

「能登エコファーマーズ倶楽部」を設立し、エコ農業や地産地消のPR。若手女性農業者や異業種女性の仲間づくりを推進

活動の効果

作付けの拡大に伴い耕作放棄地が減少

能登島の食材のPR・普及により、農業体験や移住希望者が増大

能登が世界農業遺産に登録されたこともあり、エコ農業等の環境に配慮した農業生産が注目



耕作放棄地を利用し栽培



収穫の様子



「NOTO高農園」のメンバー

殿下の里づくり組合 かじかの里山殿下部会

キャッチフレーズ

引き継ごう伝承の味、伝統の文化！

キーワード

伝統・継承

学校・企業

女性の活躍

取組概要

限界集落内唯一の商業施設の廃業危機に対して、地域の女性たちが農家レストランを立ち上げ、地域の伝承料理、地元野菜を使った創作料理を提供

人気のある惣菜を缶詰にして全国販売

大学生と連携してイベントの実施、新商品の開発、店舗の有効利用など、地域の活性化に向けた取組を実施

活動の効果

農家レストランの開業等により人の流れが、通りすぎから、ワンストップしてもらえ地域に変化

年間来店者も平成22年の数百人から平成26年約6千人に増加し、売上も増加するなど地域が活性化



地元野菜を使った創作料理



イベントで地域が活性化



大学生と新商品の開発

農業生産法人 有限会社 かみなか農楽舎

キャッチフレーズ

農業で地域を元気にする次世代リーダー育成

キーワード

農林漁業体験

研修

定住・移住

取組概要

都会からの若者の就農定住による地域活性化を目的に、2年間の露地栽培、施設栽培の実技と座学講習による農業技術の習得、地域社会の一員として溶け込めるよう、用水路清掃等集落行事、秋祭りなど伝統行事に参加する研修を実施

町と連携し小中学生の教育旅行を受入れ、農作業を体験する体験学習事業を実施

活動の効果

平成13年から平成27年までに研修修了生22人、家族を含めると58人が町内に定住

定住者の農地集積は町内農地の10%以上に広がり、担い手として活躍

研修卒業生等の地域行事等への参加は、地元若者の参加やUターンのきっかけになるなど地域全体が活性化



操作の指導を受ける研修生



田植え体験イベント



地元担い手との交流会

馬瀬地方自然公園づくり委員会

キャッチフレーズ

日本一の美味しい村・美しい村づくり

キーワード

自然・景観

観光

「食」の提供・活用

取組概要

フランスの観光と農林業の調和を重視した「地方自然公園制度」を訪仏して直接学び、参考にして活動

地域を網羅するウォーキングコースの設定、ウォーキングイベントの開催、馬瀬川の伝統漁法の観光ツアー、集落の野外を博物館に見立てた「里山ミュージアム」等の取組

地域の名産の鮎について、イベント開催、料理提供、加工品の開発など地域の食としての魅力を引き出し

活動の効果

積極的に景観など地域の魅力を発掘し活かす取組を続けた結果、住民が地域の良さに気づき、自主的な取組の機運が醸成
里山ミュージアムなど新たな観光客が増加



馬瀬地域の景観



馬瀬の観光(火振り漁)



ウォーキングイベントの開催

相差海女文化運営協議会

キャッチフレーズ

日本一海女が多いまち鳥羽相差 海女文化を世界へ発信！

キーワード

伝統・継承

観光

女性の活躍

取組概要

商工会議所と協働して地元の海女が信仰する神明神社や海女とふれあうことができる「海女小屋相差かまど」、海女について知る「海女文化資料館」、地域の特産品の販売施設等の整備や、海の信仰を知り体験する散策コースを設定し、海女漁という地域文化をフル活用

施設の従業員等運営は、海女をはじめすべて女性

活動の効果

地域固有の文化である海女に特化した事業の継続的な取組により、テレビ、雑誌等マスコミ関係者の取材が増えPR力が増加
ミシュランの旅行ガイドで1つ星獲得など、外国人の高い評価
海女の漁が行われないときなど海女の雇用・所得向上の場となり、海女減少率の鈍化に寄与



海女が信仰する神明神社



海女とふれあう体験施設



相差海女文化資料館

せせらぎの郷

キャッチフレーズ

生きものと人が共存できる農業を目指して

キーワード

自然・景観

農林漁業体験

ネットワーク

取組概要

琵琶湖の湖魚が水路を通じて田んぼで産卵・生育し、琵琶湖に戻っていくという田園環境を取り戻すため、減農薬、無化学肥料による米作りを実施。また、6次産業化の取組として日本酒の販売都市住民の農作業体験、田んぼの稚魚の観察会、地元住民と都市住民の交流会を開催
こうした取組に関心のある地域、人とのネットワークが構築

活動の効果

都市住民との交流を通して、地域住民の自然環境に対する意識が向上。
無農薬・無化学肥料栽培など新たな取り組みにチャレンジするなど、環境と経済への発展を視野に入れた活動を実施
環境に関心の高い国内外の団体との連携構築



田んぼの稚魚の観察会



無農薬の米から酒造り



生物多様性会議に出席し活動報告

株式会社 早和果樹園

キャッチフレーズ

有田みかんの6次産業化による地域活性化

キーワード

6次産業化

女性の活躍

取組概要

高品質の有田みかんの生産に取り組むほか、ミカンジュース、ジャム、ポン酢など有田みかんに特化した商品開発を推進。生産にはICT農業システムを導入し栽培技術の「見える化」を進め、農作業の効率化を推進
各種商談会や百貨店等での販売、海外への輸出など販売促進と消費者のニーズを把握。消費者との交流事業も実施
農作業や加工などシニア女性の活躍の場である子会社を設立

活動の効果

常時50人を雇用するとともに、さらに臨時で50人雇用するなど中山間地域における雇用の創出
地元のみかん農家約250戸と契約し、加工原料みかんを確保。付加価値の高い加工品の販売により、市価よりも高く買取り
交流事業は有田みかんファンの定着に一助



有田みかんの商品



百貨店で販売



シニア女性の加工作業